

2018年は単独チームで8耐参戦

5年目の
鈴鹿8時間
耐久レースに挑む
チタンのオーファ

Various

モータースポーツだけではなく
自転車部品からラクロスまで手がける

MotoGP
Machine

アクラボウィッチに採用されたFGチタン
MotoGPマシンにも使われている

Sell

チタンなどの非鉄金属材料
販売、加工、表面処理



ライディングスポーツ 2018年5月号特別編集別冊（毎月24日発行）3月24日発行
編集：株式会社オーファ 株式会社チタニウム 株式会社チタニウム
編集：株式会社チタニウム 株式会社チタニウム 株式会社チタニウム
発行：株式会社チタニウム Ofa Co., Ltd. 〒279-0025 千葉県浦安市城南1-18-10 文京SCビル2F
TEL 047-306-4500 FAX 047-306-4501



フロンティアスピリット
引地 祥郎
（開発営業部 部長）

チタンなどの金属材料や加工品の販売が営業の仕事の中心です。2輪部品メーカーのほか産業機器、プラント、食品関係、医療分野にも積極的に展開しています。ラクロスの競技を学生時代から続けて世界大会にも出場しました。



加工生産技術のレベルアップ
長谷川 勝也
（商品開発部 マネージャー）

製造管理部門では自社製品やOEMの設計、製造を行なっています。マフラーなどのバイク部品が中心ですが、精密機器部品、民生品やアウトドア用品など、お客様の業種は広がっています。車とバイクが好きで、自分で整備もやります。



鈴鹿T.C.から始まる新しいオーファ
二津 良仁
（開発営業部 センター長）

鈴鹿T.C.は2014年1月に新工場が完成し、新たなスタートを切りました。私はオーファの重要拠点『鈴鹿T.C.』の責任者として、営業、開発、製造などすべての業務をこなしています。以前はミニバイクレースをやっていました。



FG技術で新たな成長
真弓 力
（製造管理部FG課 マネージャー）

FGの責任者として開発、製造から品質管理までを担当しています。チタンの表面改質技術「FG処理」はオーファが製造ライセンスを持つ重要な技術です。自転車に興味で、大会に出場したり里山散策など自転車が休日の楽しみです。



チームオーファ
菊池 沙也香
（開発営業部 営業アシスタント）

営業サポート、経理、総務を担当しています。「毎日元気に、営業の方々への気配りを忘れず」を心がけています。オーファは前向きな失敗には許容がある社風で、若手社員の発言や提案などにも耳を傾けてくれるところが好きです。

会社概要

商号 株式会社オーファ Ofa Co.,Ltd.
本社所在地 〒279-0011 千葉県浦安市美浜1丁目9-2
バシフィックマーク新浦安2F
TEL 047-306-4500 FAX 047-306-4501

事業内容
チタン・ステンレス・アルミ・マグネシウム・ハステロイ（高耐食合金）等、非鉄金属及び加工製品の製造・販売それに付随する一切の業務／チタン表面改質処理「FG（フレッシュグリーン）処理」業務／貿易業務（アジア・アメリカ・ヨーロッパ等）／通信販売業務（チタン・ステンレス・アルミ鋼材及びその他加工製品）／Timo（自社ブランド）の商品開発及び製造・販売／ULTIMO（自社ブランド）チタン製自転車部品の商品開発及び製造・販売／ラクロス用具の製造・販売

受賞歴
千葉県ベンチャー企業経営者賞（平成19年度）
千葉県元気印企業大賞 優秀技術賞（平成24年度）
「千葉ものづくり認定製品」にFG処理チタン製2輪振動部パーツが認定（平成25年度）

資本金 6,000万円
設立 2001年9月20日

加工・デリバリーセンター
浦安D.C.
〒279-0025 千葉県浦安市鉄橋通り3丁目1番11号

鈴鹿T.C.
〒519-0323 三重県鈴鹿市伊勢町2011-1
TEL 059-371-3555 FAX 059-371-3556
＜チタン表面処理工場 併設「FG（フレッシュグリーン）処理」ISO 9001認証＞

営業品目
パイプ チタン・ステンレス・アルミ管・化粧管・配管用
シームレス・排気管
銅板 チタン・ステンレス・アルミ厚板
薄板の定尺及び切板、鏡面、ヘアライン
棒 チタン、ステンレス、アルミ
型鋼 チタン及びステンレスアングル、フラットバー
丸棒、チャンネル、H型钢
加工品 チタン・ステンレス・アルミ鋼材全般の曲げ
溶接・切断・プレス・研削加工

二輪・四輪関係 チタン・ステンレス・アルミ・マグネシウム合金特
殊加工品及び材料全般
自転車関係 チタン・チタン合金加工品及び材料全般
ラクロス用具 シャフト・ゴール・ボール・ラクロックス用具 他
チタン表面処理 チタン表面改質処理「FG（フレッシュグリーン）処理」
貿易 鋼材及び製品の輸出・輸入
通信販売 チタン・ステンレス・アルミ鋼材、二輪四輪その他
加工製品

取り扱いメーカー
新日鐵住金株式会社
<http://www.nssmc.com/product/titan/index.html>
株式会社神戸製鋼所
<http://www.kobelco.co.jp/titan/>
大同特殊鋼株式会社
<http://www.daido.co.jp/products/titanium/index.html>
モリ工業株式会社
<http://www.mory.co.jp>
株式会社UACJ
<http://www.uacj.co.jp/>
他（順不同）





4気筒用マフラーの集合部分。素材の販売だけでなく、チタンのこういった加工品も社内で製造できる



チタンのパイプ、板など、オーファは非鉄金属の材料を販売する。1枚、1本からでも販売している



昨年から加入した徳留和樹のピットアウト。今年、昨年以上の順位をねらうべく、細かな調整を行なっている



オーファには3種類のチタンボルトがある。FGチタンボルト、64チタン、そして陽極酸化処理のカラー64チタン



完走した全員が表彰される鈴鹿8時間耐久レースのもう一つの表彰式。完走を果たしたチームには最高の舞台だ



1年目のKTMから3年目まで参戦している奥田貴哉。今年、2年ぶりにチームに復帰して8時間を戦う



EICMAミラノショーでは日本からスタッフも同行。オーファ流のおもてなしでFGを紹介した



中央がアクラボヴィッチ氏。オーファとは2008年からの付き合い。アクラボヴィッチの安定した性能を支えている

FG

TITANIUM

オーファFGチタン

チタンの数少ない弱点の一つ、耐摩耗を補う表面処理がFG(Fresh Green)だ。(財)電力中央研究所が開発したこの技術を、オーファがライセンスを契約を結んだ。アクラボヴィッチをはじめヨシムラ、ヤマハファクトリーのマフラーやジョイント部分にも使われている



2017年、目標どおりの20位以内を達成。レース後にピットで記念撮影。右手前がベビーフェイスの佐藤氏。オーファとベビーフェイスの混成チームで4年間戦った集大成だ。斉藤祥太もフーターズガールもすっかりチームに馴染んでいる



彼女たちは本物のフーターズガール。いつもはフーターズショップで働いている。ショップに行けば会えるかも



双子俳優として有名な斉藤祥太。昨年チームに加わった徳留和樹。今年もオーファからの鈴鹿8耐参戦が決まった。去年の19位を上回る順位をねらっている

「将来を考えて、次のことをやらなければいけない」と思っていたときに、FGに出会ったんです。原発の燃料棒、ジルコニウムの減肉対策の技術がFGでした。この技術のライセンス契約を結びました。2007年です」

その前年、イタリアのEICMAに出展、ここでアクラボヴィッチさんに会った。アクラボヴィッチもチタンの腐食、減肉には頭を痛めていたようで、アクラボヴィッチからFG表面加工を請け負うことになった。アクラボヴィッチはその後もチタンマフラー全品に採用しているし、ヨシムラなど国内マフラーメーカー、ヤマハファクトリー、さらには北米のマフラーメーカーへも浸透している。

2014年、鈴鹿8時間耐久に参戦することになった。バイクはKTMのRC8R。チーム名はフーターズwithシヨータ・サイトウ。俳優の斉藤祥太がチームクルーとして活躍し、フーターズガールがピットを華やかにして話題を集めた。大阪のベビーフェイスとの合同チーム。取り引き先でもあり友人でもあるベビーフェイスの佐藤氏に力を借りた。

「何か社員たちと一緒に取り組めることをしたい」と思っていました。この年に鈴鹿工場を建て、人が増え、バイクに乗るスタッフも増えてきました。8耐参戦はタイミングでした。1年目、耐久レースの難しさを様々経験したが46位完走。2年目も同じRC8Rで31位。3年目にヤマハYZF-R1に変更して22位。4年目の昨年は19位でチェッカーを受けた。プライベートチームとしては素晴らしい成績だ。そして今年、オーファのスタッフ中心のチームで8耐にチャレンジする。

「リクルート効果もありました。鈴鹿という土地柄のせいか、優秀なスタッフが入ってくれました。5回目の今年、独自のチームで参戦することになりました。いつまで続けられるか分かりませんが、ウチみたいなところでも8耐に挑戦できるのを見てもうええな、もっと多くの人が出てくるかもしれない。盛り上げたいですよね」

レースに参戦するだけではない。細川さん、55歳になったらバイクでアメリカを横断したいという。バイクの仕事を始めて16年、今やすっかりバイクフリークになっている。



FG

TITANIUM

ロードレース界を陰で支える 非鉄金属専門会社 オーファ

オーファの代表、細川寿二氏。大阪出身でラガーマン。バイクの仕事をすることになって、すっかりバイクフリークになった。今はアメリカ横断が夢

まもなく発売予定のカモフラージュ柄サイレンサー。色違いではなく、陽極酸化とイオンプレーティングという製造方法が異なる二種類がある

FG

TITANIUM

ロードレース界を陰で支える 非鉄金属専門会社 オーファ

オートバイとチタンは切っても切れない関係がある

熱い細川社長が語るチタン製品の可能性

オーファは、アフターパーツの業界では、知る人ぞ知る有名ブランドだ。社名の由来はラグビーの精神である『One for all,All for one』の最初の部分『一人はチームのために、チームは一人のために』と訳されるチタンのトップブランドofaは、いったいどんな会社なのだろう

写真／オーファ、赤松 孝、長野浩之

千葉県の浦安市、東京テイスニーランドのすぐ側にオーファの本社がある。この地域は戦後の埋め立て地で、鉄鋼関連の会社が建ち並ぶ。住所も「鉄鋼通り」、50年前からここは鉄鋼の町だ。代表の細川寿二さんは大阪の出身で、お父さんは鉄工所を経営していた。「親父は55年前から大阪で鉄工所をやっています。今は退いています。カブに乗って通っていたのを覚えています。自分は大学までラグビーをやっていたし、家も鉄工所だったので、鉄鋼メーカーに就職しました。入社当時は自動車メーカーにステンレスを卸していました。まだ車が売れていた時代でした。また同じころ、バイクメーカーがチタンを多く使うようになり、これも扱っていました」

「会社員として約10年で新事業部を立ち上げ、営業もトップになり、ここがタイミングかなと思、会社を辞め、起業しました。家族を大阪の実家に帰し覚悟を決め、自分は知り合いの会社の倉庫に机を置かせてもらって、トラックに金属材料を積んで営業を始めました。今考えると、何だかそういうことやってみたかったんだと思います。コンビニでも何でも働けば、大阪へ仕送りで自分はチンラーメンでも食べていれはいやと。親父が創業した時の話を聞いていたので、自分もそんなことをやってみたかったんだと思います」

会社名は先輩が決めてくれた。ラガーマンだった細川さんにぴったりの名前だ。起業から1年後、新日鉄からバイクのマフラーメーカーにチタンを卸さないかと提案をもらった。「ヨシムラさんや鈴鹿、大阪のメーカーにトラックにチタンのパイプを積んで営業に行きました。それがバイクの仕事の始まりです」

チタンは5番目に多く産出される金属で、決して珍しい原料ではない。だが、精錬にコストが掛かる。酸素に触れずに溶かさなければならぬために真空炉が必要で、高額な電気代が必要で、鉄の100倍、ステンレスの10倍も精錬にコストがかかる。それでも、重量が鉄の約半分、強度は倍、アルミの1.6倍の重量だが6倍の強度を持っている。さらに耐食性、耐熱性も高い。その上人体への影響が少なく、医療分野でも多く使われている。

しかしそのチタンにも弱点がある。耐摩耗性が弱いのだ。バイクのマフラーの場合、パイプの接合部分などが高周波による振動で摩